

目標達成計画

作成日：平成 21年 10月 30日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	4	会議の検討内容は主に活動報告と今後の行事予定についてとなっており、ざぼんの課題・運営に関する問題提起に至っていない。又、委員の意見等発言も多くない。	1. 全職員が参加する合同定例会において、ざぼんの課題及び運営についての提示内容を本会議の検討事項とする。 2. なごやかな話し合いの場作りを通して活発な意見交換が出来る。	1. 入居者・職員状況及び活動報告を簡略化する。 2. 合同定例会の中で、最優先課題と対策について、問題提起する。 3. 気軽に話し合える配席やテーブルの位置について工夫する。	3ヶ月
2	26	本人の穏やかな暮らしやご家族の安心の為の介護のあり方について、「計画的」な話し合い・意見交換が十分出来ていない。	本人・ご家族・医療関係者(必要時の相談・助言受け)・職員間において定期的検討交流会を開き、現状に即した介護計画に反映させる。	1. 入居後は、1W、1M、3M以後は3M毎、必要時は随時(現行)に開催 2. 会議録をご家族・職員共有する。	4ヶ月
3	36	「尊厳」への職員の認識が低く、適正な言葉かけや対応が十分でない。	新人職員教育の倫理教育充実を図り、全職員の意識高揚につなげる。	1. ざぼん運営方針、ざぼん理念、GHの倫理綱領等新人職員教育を計画する。 2. 部外研修への計画的参加と普及教育の実施	6ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。